

---

# スピリットサッカー！

三代渡吉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スピリットサッカー！

### 【Nコード】

N1727D

### 【作者名】

三代渡吉

### 【あらすじ】

男が、サッカーへ魂の全てをかける。でも彼は一人じゃない！

俺が所属する、町内のサッカーチームの試合の日が迫っていた！  
相手は隣のやんちゃな野郎どもだ！

ヤツらに負けたくなくて、俺たちは試合の日まで、しっかりと身体を作って、基礎体力を鍛えることをとにかく目標としてきた。朝には毎日マラソンをして、昼は筋トレ、夜なんてダイエットビデオを見て、とにかく筋肉作りだ。

そんなことより、もっと他にすることはなかった。母さんにも少し呆れながら言われた。でも、今の俺達の目には、サッカーしかなかったんだ。

数日後、ついに試合の日がやってきた。行く前、一人の女がこっちを見ていた。貴子だった。

きつと俺のことをまた止めにきたんだろ。だけど、悪いな貴子、どうしても俺は……この戦いに行かなくちゃいけないんだよ。プライドがそう急かしているんだ。

そう、彼女に向かって背中では語りながら、俺は堂々と会場へと向かう。

俺達は、まるでガンを飛ばしあうように相手を威嚇しあった。これは俺達の儀式みたいなものだ。こうして互いの闘争本能をかきたてて、ベストを尽くせるようにする。

だから、どんなに気乗りしなくても、こうしていると、なんだかや

る気が沸いて来るのだ。これも人間が動物だという証拠だろう。

こうして試合は、互いに気力満点な状態でスタートした。相手も随分練習してきたらしい……この気迫は計り知れない。

でも、だからこそ俺達だって燃えてくる！ どちらの炎が上か、正に魂の温度の勝負だった！

接戦の末、俺達はあと少しで勝てたと言う所で、ガードの穴を突かれて1点返され、ギリギリのところでリードされた。残り時間20秒……このままでは敗北だ。

時間があればよかったけど、残り20秒の壁は、俺たちにはとても高く立ちはだかっていた。

もう希望もないのか……と諦めかけたその時、リーダーは吼えた。まだ20秒もある、諦めるな、相手の油断を突くんだ！

全く衰えていないリーダーの魂に感化された俺達は、最後の意地を見せた。いつもなら出来ないような連携プレイで、俺に回ってきたパスを受け取り、そのまま相手のゴールにシュートを叩き入れた。俺はおたけびをあげた。

そして試合はPK合戦に持ち込まれた。互いに止めつ抜かれつつ、緊迫したPK戦が繰り広げられる。

ついに相手が一点外した。……これで俺が決めれば、うちのチームの勝ちだ。俺に試合の勝敗の全てがかかっている。その重荷の重さに、思わず身体も震えてきた。

相手のキーパーから発せられるプレッシャーが、俺をさらにガタガタと震えさせた。このままじゃ失敗する。

だけど、そんな時……俺の視界に、とても心強い人間が入ってきた。貴子だった。

貴子は、俺のことを応援してくれているようで、神様に祈るように

手を組んで、俺に頑張つてと、見えないエールを送ってくれている。わかったよ貴子……俺は、絶対にやるよ。勝ってみせるよ……！

そして……俺は迷い無くシュートを打ち込んだ。

勝った。相手の意表についてフェイントをかました俺のシュートが、文句なしにゴールに決まったのだ。

仲間達からの歓声が湧き上がる！俺も、涙をこらえながらみんなと抱きあつて喜んだ。

でも、もつと勝利を分かち合いたい人間がいた。言うまでも無い、貴子だ。

俺は貴子にお礼を言わなくちゃいけない。今回のシュートが決まったのは、彼女のおかげなのだから……。

どれほど感謝すれば、俺の気も、相手の気も済むんだろう。それだけ俺は、貴子に感謝していた。

いつの間にか、貴子が走つて俺のところに来てきた。危なっかしい足取りだった。

わざわざこっちに来てくれた貴子に少し照れながら、俺は彼女と顔を向き合わせる。やっぱり恥ずかしかった。どこか恥らう俺に対して、彼女は一言、大きな声で、今の自分の気持ち、俺にぶつけた。

「お父さんこれでもう気が済んだでしょ？！早く仕事探してよ！」

（後書き）

短編は勢いで書くのが一番ですね。勢いすぎて支離滅裂ですが。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1727d/>

---

スピリットサッカー！

2010年10月11日00時17分発行